

# 令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号 II - 1 -
---------------

← 解答する問題番号（1から4）を点線の枠内に必ず記入すること。  
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

課 題 ①	:	い	か	に	複	合	災	害	に	対	応	す	る	か
		大	規	模	地	震	後	に	豪	雨	な	ど	が	発
		生	じ	た	場	合	。	復	興	途	中			
		の	被	災	地	で	は	二	次	的	な	被	害	が
		発	生	す	る	。	こ	の	よ	う	に	、		
		被	災	後	に	後	発	す	る	災	害	に	対	し
		て	も	、	耐	え	う	る	強	靱	な	ま		
		ち	づ	く	り	が	重	要	と	な	る	①	。	

① まず文末が「重要となる」としており、問題が求めている課題が何なのか分かりません。問いに  
対して的確に解答しましょう。さらに、選択科目なのでもっと都市及び地方計画の技術者として  
の課題を書くべきです。「強靱なまちづくり」では（選択科目の）技術課題として抽象的過ぎま  
す。しかも、強靱なまちづくりでは、単なる災害対応に見えます。もっと、複合災害という特性  
に沿った課題設定が必要です。

そもそも、題意は「復興対策を実施するに当たり」です。これでは一般的な防災対策に見えま  
す。論点がズレており、的確な解答と言えないと思います。

解 決 策 ①	:	グ	リ	ー	ン	イ	ン	フ	ラ	の	ビ	ル	ト	イ
		緑	の	機	能	を	活	か	し	た	防	災	対	策
		を	行	う	た	め	、	グ	リ	ー	ン			
		イ	ン	フ	ラ	の	ビ	ル	ト	イ	ン	を	推	進
		す	る	②	。	例	え	ば	、	浸	水	想		
		定	地	域	で	は	、	雨	水	・	貯	留	機	能
		を	具	備	し	た	都	市	公	園	を	整		
		備	す	る	。	雨	水	の	一	時	的	な	抑	制
		に	よ	り	、	浸	水	被	害	を	軽	減		
		さ	せ	る	。	火	災	の	延	焼	防	止	機	能
		と	い	っ	た	効	果	も	得	ら	れ	る	。	

② これも「政策的な方針」ではなく「都市計画的に何を、どのように、どの段階で実装するか」を  
示す必要があります。加えて、なぜこれが複合災害への対策なのかも不明です。単発の防災対策  
と何ら変わりがなく、複合災害への対応に見えません。さらに復興の視点もありません（具体例  
も同様）。（復興の視点ではありませんが）グリーンインフラなら、多重防御型の都市基盤再構  
築といった具合に複合災害にきちんと接続させる必要があります。

課題②：いかに広域連携を図るか

大規模災害の被災後では、行政機能がマヒする場合がある。そのため、自治体間の連携による避難体制の確保が不可欠である③。

③ 文末については①と同様。また、これも都市・地方計画の専門性が弱く、行政機能ではなく都市機能を語るべきではありませんか。都市・地方計画の専門家として求められるのは、「空間計画」「土地利用」「広域交通」「避難圏域」「都市基盤の相互補完」といった“空間的・計画的な広域連携”です。

解決策②：オープンデータ化の推進

施設の構造や修繕状況をデータ化し、オープンデータ化する。地域プラットフォームを通じて近隣自治体が把握できることにより、迅速な復興を実現する④。

④ 課題同様、都市・地方計画の専門性が弱く、行政情報化の話に寄りすぎています。都市計画としては、“どの都市基盤情報を、どの広域計画に活かすか”まで踏み込む必要があります。

また、「オープンデータ化」と「地域プラットフォーム」は本来つながる概念ですが、この文章では両者の関係性が示されていないため、脈絡がなくオープンデータ化するのか、地域プラットフォームを作りたいのかよく分かりません。

課題③：いかに強靱な都市構造を構築するか⑤

都市と居住機能の集約による、インフラの選択と集中について記載

⑤ まちづくりと都市構造と使っている言葉は違うものの、最初の課題と重複していませんか。

解決策③：コンパクト＋ネットワーク

地 域 防 災 計 画 と 立 地 適 正 化 計 画 及 び 地 域 公 共 交 通 計  
画 を 連 動 さ せ た 、 ま ち づ く り を 推 進 す る 。 ⑥

⑥ これも復興対策とどう関係しているのか全く分かりません。